平成21年度小学校学習状況調査　第５学年　理科　評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観点 科学的な思考	観点 技能表現	観点 知識理解
第４学年の内容	B 物質とエネルギー	(2)ア	・水及び空気は，温めたり冷やしたりすると，そのかさが変わることを理解している。	(1			○
		(2)ア	・物の体積変化や物の性質と温度変化を関係付けて考えることができる。	(2	○		
		(2)ア	・物の体積変化や物の性質と温度変化を関係付けて考え，変化に関係する要因をとらえながら問題を解決することができる。	(3	○		
		(2)イ	・金属は熱せられた部分から順に温まることを理解している。	(4			○
		(2)イ	・金属及び水を熱したときの様子を比較して，物による温まり方の違いを考えることができる。	(5	○		
	C 地球と宇宙	(2)ア	・水の状態変化を調べ，記録したり，表やグラフなどに表したりすることができる。	(6		○	
		(2)イ	・地面や水面から水が蒸発していくことや，結露して水が現れることから,空気中の水の存在を考えることができる。	(7	○		
		(2)イ	・水の状態変化と名称について理解している。	(8			○
第５学年の内容	A 生物とその環境	(1)イ	・種子の発芽について，条件に着目して実験の計画を考えることができる。	(11		○	
		(1)イ	・種子の発芽について，実験の結果を条件に着目して考察することができる。	(12	○		
		(2)ア	・生まれた卵は，日がたつにつれて中の様子が変化してかえることを理解している。	(13			○
		(2)ア	・魚の卵の内部や生まれたばかりの魚の成長にかかわる条件を理解している。	(14			○
		(2)イ	・人は母体内で成長することと，その成長にかかわる条件を理解している。	(15			○
		(1)エ	・顕微鏡などを適切に操作して観察することができる。	(18		○	
	C 地球と宇宙	(1)ア	・１日の気温の変化する様子を適切に測り,記録したり,表やグラフなどに表すことができる。	(9		○	
		(1)ア	・いろいろな天気と１日の気温の変化の様子との関係を調べる観察の計画を立てたり，考察したりすることができる。	(10	○		
		(1)イ	・気象情報を利用して天気の変化を予想することができる。	(19	○		
		(1)イ	・天気の変化と雲の量を関連付けて考えることができる。	(20	○		

移行・追加された内容　（領域及び内容は，新学習指導要領に対応している。）

第５学年の内容	B 生命・地球	(2)イ	・水中の小さな生物などを，顕微鏡などを適切に操作して観察し記録することができる。	(16		○	
		(2)イ	・野生のメダカなどの魚は，水中の生物などを食べ物にして生きていることを理解している。	(17			○